



顧客成功事例

advact: EDB の協力で CloudNativePG への複雑な データベースの移行に成功



顧客: advact

2024 年 2 月から EDB の顧客

Markus Helfer

Cofounder, Co-CEO
advact

課題:アプリケーション移行後、このスイスのメールセキュリティ専門企業は、PostgreSQL と Kubernetes をサポートする高性能データベースソリューションを必要としていました。

EDBソリューション:オンプレミス・コミュニティ360プランとプロダクションサポート

結果：EnterpriseDB の支援により

(EDB)のサポートを受けて、advactは6か月未満でCloudNativePGへの移行を成功させ、企業の能力を強化し、将来のさらなる成長を支えるスケーラビリティを提供しました。

概要

クラウドへの移行によるモダナイゼーション

advact の共同創業者兼共同 CEO、Markus Helfer氏は最近、会社のアプリケーションを Kubernetes を使ってクラウドに移行しました。これは、advact の増え続ける顧客基盤に情報セキュリティソリューションをより効果的に提供・管理するために必要な大きなアップグレードでした。しかし、最初の移行で得られた改善にもかかわらず、会社は依然としてすべてのデータベースニーズに対して単一の外部サーバーを利用しており、新しいクラウドベースのアプリケーションと能力を一致させるという基本的な課題に直面していました。



「私たちは本当にデータベースを DevOps の作業スタイルに統合したかったのです」とHelfer氏は言います。「すべてのアプリケーションを順番に Kubernetes に移行した後、開発者やエンジニアたちはアプリケーションをすばやく立ち上げることに慣れていましたが、データベースではそれができませんでした。」



慎重な検討と多くのリサーチの結果、Helfer氏は会社のデータベースをPostgreSQLに移行することが最良の選択であると結論しました。これはPostgres®の包括的な機能性と、オープンソースの分野における人気と強力な開発者コミュニティに基づいています。Postgresソリューションを成功させるためには、Helfer氏はadvactが、アプリケーションの領域でKubernetesが提供するものに匹敵するポイントインタイムリカバリ、高可用性、スケーラビリティ、インフラストラクチャコード能力を満たすことができるプロバイダーを必要としていました。

「私は多くの製品やツールをリサーチしていましたが、どれも高価すぎるか成熟していないと感じました」とHelfer氏は言います。「そこで、Docker Hubで公開されている公式のPostgresコンテナを試してみました。それはテストには問題なく動作しましたが、私たちが必要としていた高可用性やバックアップはありませんでした。」

徹底的な検索の結果、Helfer氏は高いデータベースの可用性とPostgreSQLとの統合を目的としたEDBのKubernetesベースのオペレーターであるCloudNativePGを発見しました。プラットフォームに関する経験不足から初めは完全に納得したわけではありませんでしたが、EDBの豊富なソリューションのドキュメントに感銘を受け、さらに学ぶために連絡を取りました。EDBのPostgres専門家との会合後、Helfer氏はadvactの移行を支援するためにEDBとCloudNativePGを選びました。

“私たちは本当にデータベースをDevOpsの働き方に統合したかったんです。”

Markus Helfer

Cofounder, Co-CEO
advact

知識のギャップを埋める

advact は CloudNativePG で正しい解決策にたどり着いたものの、移行の初期段階ではかなりの課題がありました。具体的には、当時 Postgres の知識と経験が不足していたため、Helfer氏と彼のチームは全く新しいツールとインフラを同時に統合し、適応する必要がありました。

「私たちは本当に Postgres の専門家ではありませんでした」とHelfer氏は説明します。「なので、その分野に少し不足していることに気がきました。CloudNativePG だけでなく、Postgres 全般においても知識を深める必要がありました。」

“そして、EDBとそのサポートチームが大きな助けとなりました。彼らのおかげで、いくつかのギャップを埋めることができ、とても助かりました。”

Markus Helfer

Cofounder, Co-CEO advact

実際、advact の取り組みを通じて、この複雑な移行を学習の機会として活用することに熱心な DevOps チームの存在が明らかになりました。Helfer氏は、Postgres と Kubernetes で初めてデータベースを扱うことで、開発者たちがデータベースの性能におけるストレージの重要性を見落としていたことに気付いたと言います。

「EDB のプレゼンテーションで提供されたドキュメントに基づいて、データベースが正しく動作するための最も重要な要素がストレージであることをすぐに発見しました」とHelfer氏は言います。「そこで、Kubernetes のストレージソリューションを見直し、データベースに最適な設定に適応する必要がありました。例えば、複数のレプリカから単一のストレージレプリカに変更しました。CloudNativePG のオペレーターが高可用性とレプリケーションを担当しているので、学ぶ必要はありましたが、最終的にはうまくいきました。」



自信を飛躍的に高める重要な一歩

初期の課題を乗り越えて、advact は EDB の支援を受け、6 カ月以内に CloudNativePG への移行を成功させました。Helfer 氏によれば、この移行は advact にとって大きな改善をもたらし、以前の能力を強化するだけでなく、さらなる成長を支えるスケーラビリティを提供しています。

「当初、私たちには 1 つの外部データベースサーバーしかなく、それは非常に静的で、高可用性やポイントインタイムリカバリ、インフラストラクチャーをコード化するものはありませんでした。それが CloudNativePG によって大きく変わりました」と彼は言います。「今日では私たちはずっと柔軟になりました。初めは 5 人から 70 人の顧客への成長が課題でしたが、今や新しいインフラ、運用知識、現在のデータベースを駆使すれば、70 人から 700 人の顧客へと容易に拡大することも、それほど大変なことではないでしょう。」

“今日では私たちはずっと柔軟になりました... 70人から700人の顧客へと容易に拡大することも、それほど大変なことではないでしょう。”

Markus Helfer

Cofounder, Co-CEO advact

ビジネスを促進するための進化したデータベース構造

「先ほど述べた理由から、データベースを Kubernetes に統合することは難しかったですが、それでも大成功でした」と Helfer 氏は語ります。「ですから、今後、他の複雑または難しいシステムの移行やアップグレードにも、より自信を持って取り組むことができますと思います。」

advact の今後について具体的に言うと、同社は現在、新しいツールとインフラを活用して、主要な情報セキュリティソリューションの 1 つに関連するフィッシング対策機能を強化しています。

「これが私たちがインフラを変更したもう一つの理由です。フィッシングメールに対する製品のセキュリティを強化するための新たな層を追加できるようにするためです」と Helfer 氏は述べています。「以前はアナリストたちがフィッシングの可能性のあるメールを評価し、フラグを立てるだけでしたが、今ではこうした通信を自動的に捕捉し、削除し、ブロックする機能に取り組んでいます。」

advact が新機能やアップグレードを続ける中で、EDB と Postgres が将来のワークロードを支援します。



EDBは、あらゆるクラウドで、いつでもPostgresの力を最大限に活用できるデータとAIプラットフォームを提供します。詳細はwww.enterprisedb.comをご覧ください。